

# 七宝焼き

## 七宝焼き技法と種類

### 1・単色盛り

一種類の絵の具だけを使用する七宝の基礎となる最も簡単な技法。

### 2・多色盛り

二色以上の絵の具を使用する色・柄・デザインを工夫すると良い。



多色盛り

### 3・マーブル

何種類かの絵の具を盛りつけ、炉の中で絵の具が溶けた時にマーブル棒で、軽く表面をかき混ぜる。素地板にベースの色を塗り、その上にフリットをのせ溶けたら、かき混ぜる方法もある。



マーブル

### 4・フリット

素地板にベースの色を塗り、その上にフリットを置き焼く。一度焼いた上にフリットを置く場合は、糊水をつけるか、ベースと同じ絵の具を少しのせ、その上にフリットを置いて焼く。



フリット

### 5・噴釉 (ふんゆう)

ベースとなる不透明絵の具を盛り半焼きし、その上に透明絵の具を薄く焼く。ベースとなる不透明絵の具は、白、薄クリーム、グレー等が比重が重く、流動性のあるものが適している。



噴釉

## 6・描き割り

ベースとなる色（あとで線になります）を下地焼きします。上地を盛り乾燥させてから描き割棒で模様を描きます。描き割った線の上に絵の具が残らないように息で吹き飛ばしながら描き、焼く。



描き割り

## 7・平脱

ベースの色を素地板に盛り焼く、銀泊をカットし張り付け、その上から透明絵の具を盛り焼く。



平脱